

2021年12月22日

研究者各位

研究・社会連携機構
機構長 平野 博之

2022（令和4）年度 岡山理科大学プロジェクト研究推進事業の公募について

2022（令和4）年度「岡山理科大学プロジェクト研究推進事業」の公募を下記のとおり行います。

目的

本事業は、本学における、研究活動の活発化、個性的で魅力ある研究の推進、若手研究者の育成を目的とし、本学を代表する特色ある研究を創出することを目指しています。さらに、本学が連携協定を締結している国内外の大学等との共同研究（応募区分（D））についても支援を行い、研究の重点化・拠点化を目指します。

1. 応募区分

本事業は、岡山理科大学の研究者が、プロジェクトを通して他研究者と協働して取り組む研究グループを対象とし、各種の競争的資金の獲得を支援します。

審査は岡山理科大学プロジェクト研究推進事業選考委員（学長、副学長、大学事務局長、研究・社会連携センター長及びセンター次長）が行い、学長会議の審議を経て、学長が最終決定します。公募する研究課題は以下のとおりです。

- (A) 社会的要請の強い研究
- (B) 大型競争的資金に申請予定の研究
- (C) 若手研究者（2022年4月1日現在において39歳以下）が代表の研究
- (D) 連携協定を締結している大学・機関（別紙1）との共同研究

2. 申請要件および応募資格

- (1) 申請者（研究代表者）およびプロジェクトメンバーは本学専任教員（教授、准教授、講師、助教）です。なお、研究協力者として学園専任教員を含めることができます。
- (2) 一人の研究者が参加できるのは1つの研究課題のみです。
- (3) 本学専任教員2名以上を含むグループで申請できます。
- (4) (C) は、若手研究者が、イニシアチブをとるグループ研究です。
- (5) (D) のみ、別紙1記載の学外プロジェクトメンバーを加えることができます。

- (6) (D) は採択後に当該研究機関との共同研究契約書の締結をしていただきます。
(7) 研究期間は2年間です。

3. 応募期間

2022年2月14日(月)～2022年2月24日(木)17:00締め切り

4. 申請額など

各年度、100万円～500万円とします。

2年目の申請額は、原則、1年目の申請額の半分以下とします。

区分(D)については、1年目の申請額の最低額を200万円とします。

設備備品、20万円以上の物品については、見積書を提出してください。

研究協力者および学外プロジェクトメンバーへの経費配分は行いません。

5. 応募方法

申請書を作成し、研究・社会連携部までメールに添付して応募してください。

(1) メール の 件名

研究代表者氏名(2022年度プロジェクト応募)

(2) 添付ファイル名

研究代表者氏名(2022年度プロジェクト申請書)

(3) 提出先

renkei@office.ous.ac.jp(研究・社会連携部)

(4) 申請書は、「研究・社会連携部」のHPからダウンロードしてください。

https://renkei.office.ous.ac.jp/ous_project-2/page-12535

※ダウンロードできない場合は、本件担当までご連絡ください。

6. 公聴会

次のとおり、研究代表者によるプレゼンテーションを行っていただきます。

日 時 : 2022年3月2日(水)10:00～12:00

場 所 : A1号館1階 プレゼンテーションルーム

内 容 : 発表15分・質疑応答5分(予定)

7. 研究成果の発表など

初年度終了後、「実施報告書」を、最終年度に「成果報告書」をそれぞれ提出していただきます。

原則、実施期間中および終了の翌年度に開催されるOUSフォーラムおよび学内成果

報告会で発表を行っていただきます。

国内外の学会や学術雑誌での発表、プレス発表や取材への協力をしていただきます。

8. 機器について

本事業において、20万円以上の機器を購入予定の場合は、見積書を併せてご提出ください。

<提出書類>

- ①購入機器見積書 ※PDF可
- ②カタログ
- ③高額機器購入理由書（100万円以上）（所定様式）

9. 本事業による成果を発表する際の「謝辞」について

本事業から得られた研究成果を発表する場合は、課題番号（OUS-RP-22-***）とともに例えば以下のように謝辞を明示してください。

【英文】：This work was supported by Grant for Promotion of OUS Research Project (OUS-RP-22-***).

【和文】：本研究は岡山理科大学プロジェクト研究推進事業(OUS-RP-22-***)の助成を受けて実施されました。

以上

《本件担当》

研究・社会連携部 國上（内線 1180）

藤原（誉）（内線 1182）